

「主を畏れる」 —先週の講壇より—

「幸いな者とは常に主を畏れる人。」箴言 28:14 【共同訳】

わたしの家では猫を飼うようになりましたので、それ以降は猫のものが何でも気になるようになりました。日本のキリスト教冊子『百万人の福音』の中にも猫を飼っている人のコラムがあるので、それも毎回興味深く読むようになりました。

今月号の『百万人の福音』に、メイちゃんという猫を拾って来た時の話しが載っていました。雨の日に捨てられていた子猫を見つけ、家に連れて来た著者。獣医に連れて行くと「子猫じゃなくておばあちゃんですよ、血統書付きで子供を何度も産んだみたい」ということで驚いたそうです。血統書付きですので子猫を産むために使われ、それで年を取ったので捨てられたと、こういうことだったようです。しかしこの著者にもられ、メイちゃんと名付けられ、亡くなるまで幸せに暮らしたということでした。

メイちゃんは、何も悪いことをしていないのに、飼い主の罪によって捨てられ、しかし救われました。私たちは罪ある者、永遠の滅びへと捨てられて当たり前存在。でもそんな私のために一人子イエス様を賜ったほどに、神様は私を愛してくださった。この神様を恐れ敬わずにいられるでしょうか。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



### 《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

### 《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

### 「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2024 年 10 月 13 日



礼拝：9時半～  
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「主を仰ぎ見て、光を得よ」

詩篇 34:5

### ☆集会案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:30

ブレイク : 10:30-10:45

聖書クラス : 10:45-11:45

(現在第二と第四または第五週)

